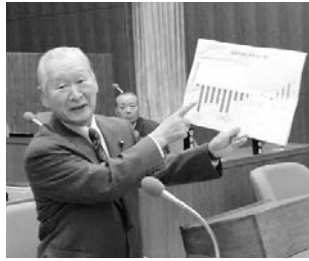


大崎町財政計画試算表の検証は



中倉 毅 議員

スーパースタジアムは

中倉議員

試算表には、町長の政策であるスーパースタジアムの計画は入れてあるのか。又、その理由は。

中倉議員

国や県は、財政難を理由に、今後さらに交付金や補助金を減らして来ることが予想されることから、この試算表では、財政は賄えないと思うが。

財政破綻はない

町長

職員にも、コスト削減意識を徹底させ、事務事業の見直し、組織の統廃合等行政改革を行う。又、財政調整基金が、約14億8千万円あるので財政破綻の可能性は少ない。

特別職・議員等の削減は

町長

特別職の報酬見直しにも取り組む

議員及び農業委員等は、行政の側だけでは決められないので、各局で検討していただきたい。仮に、合併しない場合、特別職の報酬額の削減及び見直しにも取り組む。

中倉議員

歳出の人員費では、職員減だけで、特別職、議員、農業委員等の削減が出ていないが。その理由は

町長

このことで、倒産等の影響はないと考える。

財政調整基金を赤字の穴埋めに使うのはどうか

中倉議員

歳入・歳出の総括として、平成15年度より町財政はマイナスに転落する。この穴埋めに、財政調整基金を使うのはいかなものか。

財政調整基金は枯渇しない

町長

予算作成の手法として、決算時に歳入欠陥にならないよう厳しく策定している。決算後の剰余金を考慮すると、単年度では、黒字運営ができる。

平成16年度以降特に、普通建設費では、おおむねこの程度の額で執行可能である。

合併した場合の財政計画試算を基礎にした

町長

4町が合併した場合の財政計画を基礎に、平成32年度までの18年間で歳入・歳出の各項目ごとに過去の実績、人口の推移等を勘案し、普通会計ベースで策定した。

計画は入れていない

町長

試算表には、財政収支上、実施可能な事業費を見こんでおり、スーパースタジアム建設は、現在不確定要素があるため、過疎地域自立促進計画等に盛り込む。

財政は賄えるのか

